はじめにお読みください!

LD-WLS54AG/AP LD-WLS54G/AP

## 使用上のご注意と機能の制限について

F/W V1.14用

本製品のユーザーズマニュアルに記載されていない使用上のご注意と機能の制限について説明 しております。お手数ですがユーザーズマニュアルと併せてこの説明書もお読みいただくよう にお願いいたします。

- ①ブリッジモードとロードバランス機能を同時に使用することはできません。
- ②ブリッジモード使用時はAPステルス機能を使用することはできません。 ブリッジモードを使用する場合はAPステルス機能を「無効」に設定してください。
- ③ブリッジモードだけを使用する場合でも、無線クライアントにSSIDが表示されます。 ブリッジモード使用時は、アクセスポイント+ブリッジモードのチェックをオフ(無効)にしていても、本製品に設定されたSSIDが無線クライアント(無線LANアダプタ)側の設定ユーティリティに表示されてしまいます。ただし、無線クライアントから本製品に接続することはできません。
- 台数を各無線アクセスポイントに振り分けて設定するようにしてください。 たとえば無線アクセスポイントが4台で、無線クライアントが20台である場合は、5台ずつに 設定するのではなく、6台ずつ程度に設定してください。実際の台数と同じ台数に設定すると接 続が不安定になる場合があります。

④ロードバランス機能をお使いになる場合は、無線クライアントの合計台数より少し大目の

- ⑤WPA-PSK/TKIPおよびWPA EAP/TKIPを使用している場合に、ロードバランスを有効に設定すると、で使用の環境によっては接続が不安定になる場合があります。 このような場合は、WPA以外のセキュリティー方式を使用するか、ロードバランスを使用する代わりに、各アクセスポイントに異なったSSIDを設定することによりトラフィックを分散するように設定するなどしてお使いください。
- ⑥覗き見防止機能を有効にしても無線クライアントから無線ブリッジへの通信は有効になります。

ただし、LD-WLS54AG/APにおいて覗き見防止機能を有効にした場合はIEEE802.11a⇔ IEEE802.11g/b間の通信は完全に遮断されますので、下記組み合わせの通信はできなくなります。

- ・IEEE802.11aで接続した無線クライアントとIEEE802.11g/bで接続した無線クライアント間の通信(覗き見防止機能が有効になっている場合の通常の動作です)。
- ・IEEE802.11aに接続した無線クライアントとIEEE802.11gブリッジ間の通信。
- ・IEEE802.11g/bに接続した無線クライアントとIEEE802.11aブリッジ間の通信。
- ・IEEE802.11aブリッジとIEEE802.11gブリッジ間の通信。

## ⑦SSIDにスペース(空白)文字を使用しないでください。

本ファームウェアではSSIDにスペース(空白)文字が使用可能ですが、他のファームウェアでは使用できない場合がありますので、可能な限りSSIDにスペース文字を使用しないでください。

## 設定ユーティリティの設定時のご注意点

WPA-PSKまたはWPA-EAPを設定したあとに〈アクセスポイントモード設定〉画面を表示し、設定画面の[保存]ボタンをクリックすると、〈セキュリティー設定〉画面の[認証方式/暗号化方式]の設定が[オープンシステム]に強制的に変わってしまう現象が発生します(アクセスポイントモードで何も変更しない場合でも[保存]ボタンをクリックすると変わります)。

本来であれば、WPAはブリッジモードで使用できないため、ブリッジモードを設定した場合にだけ、強制的にオープンシステムに変更されるのが正常な動作です。

## 上記のような状態になることを回避するために以下の点にご注意願います。

- ●〈アクセスポイントモード〉画面の設定を[アクセスポイントモード]に設定してからWPA-PSKまたはWPA-EAPを設定してください。
- ※初期値は「アクセスポイントモード」になっていますので通常は設定の必要はありません。
- ●LD-WLS54AG/APをご使用のとき、IEEE802.11aをブリッジモードでWEPを使用するように設定して、IEEE802.11gをアクセスポイントモードでWPAを使用するように設定する場合、あるいはその逆の設定をする場合は、以下の順序で設定してください。
- ①〈アクセスポイントモード〉画面で先にブリッジモードを設定します。
- ②ブリッジモードを設定した規格のヤキュリティー設定をします。
- ③もう一方の規格をアクセスポイントモードに設定します。
- ④アクセスポイントモードを設定した規格のセキュリティー設定(WPAの設定)をします。